

春に近づいていますがまだまだ雪も降る北海道です。北海道と言えば思い浮かぶ物のひとつとしてはジンギスカンではないでしょうか。今回ご紹介するのは道民のソウルフード、松尾ジンギスカンです。

皆様ご存じかと思いますが、北海道では焼き肉と言えばジンギスカンを食する事が多く、普通の事なのです。外食、自宅ともに同様です。そんな中で一番に出てくるのは『松尾ジンギスカン』です。松尾ジンギスカンへ行ったことのない道民はいないと言われるほど庶民に愛される店です。その本店が滝川市にあり、先日行ってまいりました。一般的に焼き肉は生肉を焼き、タレで食べることがポピュラーですが、ジンギスカンはタレで味付けした物を焼く方がポピュラーで生肉の方がまれな食べ方となっています。もやし中心の野菜をジンギスカン鍋(中央が盛り上がった鍋)に乗せ、その上に味タレ付けの羊肉を乗せ、焼いて食べるスタイルです。肉もさることながらタレ焼きされた野菜が抜群に美味しいのです。松尾ジンギスカン本店は最高です。通な方は生後2年以上のマトンが好きなのですが、私は独特の臭みが強いので、生後1年未満のラム肉の方が好みます。ラムは臭みもなく非常に食べやすいのでお勧めです。

札幌市内にも店舗は多数ありますが、時間があれば松尾ジンギスカン本店をお勧めします。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

霜止出苗しもやみてなえいずるところとなり、いよいよ活気に満ち溢れる季節となってきました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。外食を控え、お店に出かけることも控える毎日ですが、そろそろ活気に満ち溢れたい気持ちでいっぱいです。

さて、東京メトロ葛西駅に地下鉄博物館という施設があるのですが、今回初めて入ってみたのでご紹介いたします。

読んで字のごとくそのまま地下鉄の博物館です。入場口からシュールで、買った切符を機械に差し込んで入るメロと同じです。中に入ると、地下鉄の歴史や、初期型から最新までの車両が並んでいます。また、地下鉄が出来るまでの工事風景や、模型などもリアルな感じで、ただ単純に感心しきりでした。来場されている方は、たまたまかもしれないですが小さな子連れのご家族ばかりでした。また、東京メトロでは1日に750万人以上の方が利用しているのですが、それをさばってしまう東京メトロの仕組みにも、驚きました。

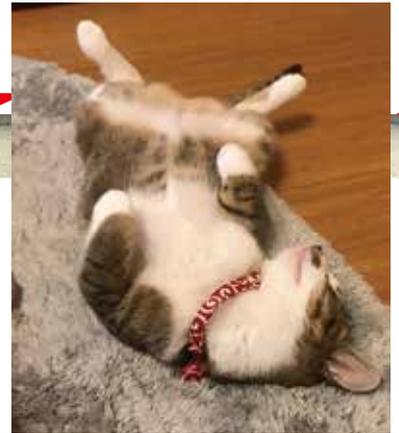
ここで見たこと学んだことを頭に思い浮かべながら、これからも東京メトロを利用したいと思います。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-

Vol.230
Apr.2021
KOYORAD



花見になかなか行けないうまま葉桜となり、今年もゆっくりと花見ができなくて残念でした。来年こそはコロナも落ち着き、ゆっくりと花見ができるよう情勢が変わっていることを切に願いたい今日この頃です。もう少し頑張らしましょう。

さて、昨年末の話ですが、我が家に猫がやってきました。きっかけはというと、次男が帰宅中、たまたま通りすぎた子猫と目が合い、そのまま家までついてきたとのこと。ペットという存在を、今の今まで一度も飼ったことのない我が家です。猫の扱い方が分からず、ましてや外に追い返すこともできず、家の玄関で右往左往としていた次男だったらいいです。その後、ネットで色々調べて、動物病院で検査、派出所で届け出を出して、一時的に保護をするということになりました。そこからというもの毎日がトラブルの連続です。想像がつくと思いますが、しつけがもう大変。やっとトイレや食事場所を覚えたと思えば、壁やカーテンには傷をつけ、更に追い打ちで発情期がきて、夜は眠れない毎日・・・(泣)。落ち着いたと思ったらその1週間後にまた発情期(泣)。動物と一緒に暮らすのは難しいですね。言葉が通じないだけに、本当に大変でした。

その子猫も届け出を出してから3ヶ月経ち、晴れて我が家の一員となりました。今では家の主のように悠々と過ごすムードメーカーです。やんちゃばかりする子猫ですが、気長に成長を見守っていきます。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は別小江(わけおえ)神社を紹介いたします。名古屋市北区の庄内川南岸近くにあり、創始年は不明ですが元々は今の場所から300mほど東北の千本杉という所にあったそうです。天正2年(1584)に織田信雄の命で現在の場所に鎮座することになったようです。別小江の名称は川の分流を意味すると言われていました。この神社は古くから安産や子供の守護神、寿命の神様として源義家、織田・豊臣・徳川の代々からも崇敬されてきた神社で、境内の夫婦杉の大木は天然記念物になっています。

そんな歴史と信仰のある別小江神社ですが、最近では御朱印が有名になり、御朱印目当ての人でにぎわっているようです。ここの御朱印は、年毎・月毎でデザインが変わるのが人気のようでデザイン自体もきれいなもの、かわいらしいものが多く人気があるようです。

どんな御朱印があるか見るだけでも、訪れる価値がありますよ。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

今年は春の訪れも早く、関西も3月下旬に桜が満開になるところもありました。3月始めに緊急事態宣言が解除となりましたが宴会の自粛や桜まつりの中止等の規制もあり、マスク等完全防備で歩きながら桜を楽しむのもブームになっておりました。

そんな中、今月上旬に阪急宝塚駅から宝塚大劇場までの『花のみち』に行ってきました。満開の桜にスマホやカメラを向ける人が多くみえました。ここはモダンで雰囲気も良く、宝塚歌劇生も行き交う通り。駅から歩いて行くと右手に大きな洋館。宝塚ホテルでした。まだ昨年に移転したばかりで、宝塚大劇場と色感を合わせた綺麗でゴージャスなつくり。桜だけでなくホテルの外観を写真に収める人が多い。石畳の道を進むと宝塚大劇場があります。ここで桜と合わせて写真をパチリ。

もう少し歩けば手塚治虫記念館もありますが今回は劇場でUターン。短い時間でしたが良い気分転換になりました。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

インドネシアは人口の約90%以上がイスラム信者です。年一回約30日間の断食があります。今年は4月13日から始まり、終了予定は5月12日です。例年断食終了後、会社によりますが1,2週間ほど休日があり、帰省します。

今年は政府がコロナ感染を防ぐため帰省することを禁止しています。特にインドでコロナの感染が拡大しているとテレビや、SNSなどで報道されています。そのため政府は帰省をより厳しく禁止しています。断食後のお祝いは5月13,14日、帰省禁止期間は5月6~17日です。そのため禁止期間前に帰省する方は結構います。ジャカルタで働き、年一回田舎にいる奥さん・子供達に会いたい人、コロナで仕事を失いジャカルタに残っても意味がない人、こういう方が結構いて、みんな帰りたいがっています。逆にお祝いの2,3週間後、仕事を探するために田舎からジャカルタに入りたい人もたくさんいます。夜中にオートバイで下道を通ってジャカルタに入る場合、政府ではほとんど防げないです。

こうなるとコロナ感染者数が一時的に増える可能性は十分にあります。インドネシアがインドのようにコロナの感染者数が爆発的に増加しないことを祈っています。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhya)

~ほかの山は見なくてよし~

五岳帰来不看山。中国の5つの名山を見ればほかの山は見なくてよし、という意味です。

その5大名山の一つ、山東省の泰山に登る機会がありました。中国で最も有名な山の一つです。標高1,545mのこの山は中国の古い歴史の中でも封禪の儀式が行われる山として名高いところ。封禪とは皇帝が天と地に即位を知らせ、天下泰平への感謝をささげる儀式で、古くは秦や漢時代の皇帝が泰山に登り国の統治への思いをささげた歴史もあります。山の各地には滝や泉、石窟など多くの見所があり、とても一日では回り切れません。まずは頂上へ。しかし頂上までは約7,000段の階段が待ち受けます。特に最後の難所、十八盤からは1,633段の急な階段が続き、脚が悲鳴を上げます。しかし頂上から見下ろす景色はその疲れを忘れさせてくれる素晴らしいものでした。晴天の中、新鮮な空気と美しい景色で心のストレッチができました。

5大名山は泰山のほかに陝西省の華山、湖南省の衡山、山西省の恒山、河南省の嵩山だそうです。これらの名山を見ればほかの山は見なくてもよいそうですが、もう一つ有名な安徽省の黄山が入っていません。なぜ?水墨画の風景に描かれるような美しい山です。KHEの社員に尋ねると「黄山帰山不看岳」と、『岳』は5大名山を表し、「黄山を訪れれば5大名山さえも見る必要なし」という意味だそうです(笑)。黄山のやきもちでしょうか?

残り4つの名山、いつか機会があれば登ってみたいと思います。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

最近日本からのニュースで感染拡大が続き、また非常事態宣言が発令されたと聞き、とても心配です。

アメリカではようやく全国的に新規感染者数が減少しており、ここカリフォルニアのロサンゼルス郡やオレンジ郡では1月中旬のピーク時期に比べて20分の1になりました。そのためリスクレベルが最悪の紫から赤に改善し、先週からレストラン、映画館、ジムなどの屋内営業が人数制限付きで再開可能になりました。

このまま進めば赤からオレンジ色に変わる日も近いかもしれません。ワクチン接種も順調に進んでいてアメリカ人の約25%が、ワクチンを少なくとも1回接種し、15%が必要回数を接種しています。4月からは全ての住民が接種の対象になります。先回も書きましたが私自身も先日2回目(ファイザー製なので2回必要)の接種を終えています。少し心配していた

副反応もありませんでした。

少し気が楽になりましたので、早速インダイニングができるレストランにほぼ1年ぶりに行ってきました。SHABUSHABUレストランですが、日本の『しゃぶしゃぶ』とは少し違います。カリフォルニアではコロナ禍前よりちょっとしたブームになっています。スープは昆布だしだけでなく、豚骨や味噌味など選べます。肉は牛肉、豚肉、羊肉を選べ、更に海鮮や野菜などあり、×は麺類といういわゆる何でもありのしゃぶしゃぶ鍋です。店によって違いはありますが、今回私が訪れたお店はビュッフェ・スタイルの食べ放題です。若干スタイルは違いますが、台湾系のBoilingPointという一人鍋のお店も大人気です。こちらの店は近いうちに日本の東京にも進出が決まっているようですので興味のある方は是非お試しください。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

シンガポールではたくさんの緑が見られましたが、急速な都市開発でたくさんの緑を失いました。最近、政府は緑を取り戻すために、多くの木を植林する計画をしています。

維持費がそれほど高くない自然の樹木とは異なり、シンガポールの公園や道路脇の木は、特定のガイドラインと適切なメンテナンスに従って植える必要があります。検査の結果、樹木の根が抜けるリスクがあると判明した場合、定期的に施肥、剪定、さらには伐採されます。特に大きな木は定期的に健康状態をチェックしていますが、それでも根倒しになって車にぶつかることもありました。

イーストコーストパーク(ECP)は、ビーチ近くに長いジョギングコースがあり、大きな木がたくさんあります。最近、健康状態に問題があり、1本が伐採されました。優れた予防措置ですが、検査には多くの費用がかかります。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

3月17日にオランダで外院選が行われました。参加した37政党のうち、17政党が衆議院議席に十分な票を獲得しました。VVD(自由民主党)が最大の党(34議席)になり、2番目の党は民主66党(24議席)になります。国を統治するためには、過半数(150~76議席)を占めるように他の政党と連立政権を形成する必要があります。

先週、「オムツィグト議員のポジションは、他の場所で機能する」と書かれた交渉メモが報道されるまでは、すべてが順調に進んでいるようでした。総辞職したマルク・ルッテ首相は、オムツィグト議員についてスカウトとの会話を拒否しましたが、配信されたVVDレポートとは反対のことを示しました。VVDのリーダーであるルッテは、CDA(キリスト教民主勢力)が新しい内閣に参加する場合、オムツィグト議員を大臣にすることを提案しました。それは、彼が次の任期中に下院から姿を消し、政府を取り締められなくなることを意味します。彼の粘り強さのおかげで、利益問題が明らかになったこともあります。

野党全体が首相を信頼しておらず、連立政権の1つ(キリスト教連合)は彼を新しい内閣に加えることを望んでいません。その結果、組閣は完全に停止し、新しい内閣を率いるルッテの選択肢は枯渇しつつあります。

ルッテは190万人の有権者を擁し、辞任しない構えです。彼は党の支持を得て、信頼を取り戻したいと考えており、他の党との組閣を進めたいと考えています。唯一の問題は、どの政党が彼と一緒に内閣を作りたいのかということです。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)